

学校評議員会 議事録

校名	大阪府立水都国際中・高等学校
校長名	太田 晃介

開催日時	令和 6年 7月 10日(水)18:00 ~ 19:15
開催場所	大阪府立水都国際高等学校(新校舎)2階会議室
出席者(委員)	菅野正嗣、鉄谷明、林明子、能登左知(オンライン)、福井崇之(オンライン)
出席者(学校)	太田晃介、ジョンボディング、佐藤吾朗、大山達也、小西雄希
傍聴者	なし
意見聴取に係る資料	資料1～資料7
備考	

議題等(次第順)

1. 校長挨拶・学校説明
2. 評議員・事務局紹介
4. 令和5年度学校経営計画評価報告(中学校・高等学校)
5. 令和6年度学校経営計画報告(中学校・高等学校)
6. 副校長挨拶・閉会

1. 学校説明(太田)
 ・今年度より学校のリーダーシップが大きく変わっているが、コロナの制限も解除され、昨年度の夏からの取組みをより一層推進していく。
 ・より開かれた学校運営を実現するために、保護者の組織を準備し、学校通信なども活用しながら、より良いコミュニケーションが実現できるように取り組む。

2. 評議員・事務局紹介
 ・評議員会会長の選任を行い、鉄谷評議員が会長に就任した。
 ・水都開設時より携わり、学校の理念であるグローバル人材の育成を推進できるよう評議員会にて様々な意見交換を行いより良い学校運営に貢献できるように取り組みたい。また日頃からの教職員の皆さまのご尽力に感謝申し上げます。

3. 令和5年度学校経営計画評価
 ○高等学校報告(佐藤)
 資料5に基づき報告を行った。特筆すべき点としての成果と課題の共有を行った。「学力向上:授業外学習時間数の未達成」については、基礎学力の定着についての目標は達成できているが、学習習慣の定着に関する学習時間数については、各学年団と連携し、意識を上げていく事を今後の目標とする。「IB教育の推進」については、生徒数も増え、今後、質を上げていくよう教員育成を行う。「コンテストへの出場」については素晴らしい成果を上げる事ができ、各種コンテストへの参加だけではなく各賞の受賞に至っている。環境づくりの「生徒の自主的な活動」については生徒からの回答が芳しいものではなかった。今後、学校行事の充実を目指して生徒会の改編等を行い、改善を行う。進路指導に関しては、海外大学進学の実績を積み重ねる事ができているので、引き続き推進していく。教育効果の高い学校運営に関しては、教員研修に多数の教員が参加するよう促しができ、大阪府教育庁・大阪YMCA・IBの各種研修ならびに外部研修への多数の参加ができた。
 ○中学校報告(大山)
 資料4に基づき報告を行った。令和5年度の実績内容及び自己評価としては概ね達成しており、授業外学習時間の未達成については夏期講習を実施するなど対策を行い、基礎学力の向上に取り組んだ。その他IB教育の推進については中学校全体においてIBの説明会を実施し理解を促す事ができた。高等学校同様に各種コンテストへの参加を促し、多数の受賞者を輩出した。環境づくりにおいては女子生徒が多い中ではあるが、女性教員が少ないので、今後の採用においてはジェンダーバランスを考慮した採用を行っていく。高校へ進学の際に転学者が存在するので、中高一貫校の継続した教育の利点について共有を行っていく。

4. 令和6年度学校経営計画
 ○高等学校報告(佐藤)
 資料7に基づき報告を行った。特筆すべき点としては、今年度にIB査察があり再認定に向けての取組を推進していく。また本校の教育の特徴である探究教育をより推進し、内容の向上を行う。そして英語力の向上については取り組みれば取り組むほど向上するので、学校全体でのその雰囲気づくりを推進する。支援を要する生徒に対しては教員が抱え込まないように教育相談のチームを組織化し取組みを推進していく。進路指導の強化の所については、今年度は中学から進学している1期生が卒業する年なので、より細かな進路指導を実践していく。また卒業生の先輩たちのキャンパスライフなどを語るキャリア教育なども実施しキャリアをイメージしやすいロールモデルを活用する。働きやすい環境づくりにおいては、全教職員との個別面談を年に3回行いフォローアップを行っていく。また開かれた学校づくりにおいては保護者による会を組織化する事、生徒活動を推進する事、教育関係者に向けた水都の授業の公開に取り組む。
 ○中学校報告(大山)
 資料6に基づき報告を行った。特筆すべき点としては、令和5年度の課題への改善と成果のより一層の推進の取り組み。

学校評議員からの意見
 <高等学校>
 ・「5. 進路指導を強化する」の令和8年度までにめざす大学合格者数において、令和6年海外大学進学合格者目標数が延べ人数10名という事であるが、海外奨学金の獲得がキーンとなってくると考えるのでその取組みの強化を行うよう意見があった。
 ・「7. 開かれた学校づくりを行う」では、2025年には万博が開催され、外国人がたくさん訪れる場での活動につながるようなプロジェクトに取り組み、発表の場として活用するよう生徒たちへの促しをお願いしたいという意見があった。
 <中学校>
 ・「3. 個性を見つけ、可能性を伸ばす」箇所では、高校生というロールモデルがあり、進学するのが楽しみだという意見があった。
 ・「4. 生徒・教職員が安心して生活できる環境づくりを行う」箇所では、生徒からの改善提案に対して学校全体で即座に対応される努力に非常に感銘を受けています。今後も引き続きお願いしたい旨の意見があった。
 ・「2. IBワールドスクールとして高校に繋がるIB教育・探究学習を推進する」という箇所において、IBコース選択について、できるだけ早い時期から説明を行い、準備に向けて取り組める環境作りも必要であると考えたいという意見があった。

5. 閉会
 (JB) 本日は誠にありがとうございました。水都をよりよくしていくため新たなマネジメントチームで、より良いプロジェクト、より良いコミュニケーションを保護者、生徒、教職員と取りより良い学校運営を行ってまいります。今後とも指導・ご助言いただきたいと思います。よろしくお願いたします。

次回の会議日程

日時	令和6年 12月(未定)
会場	大阪府水都国際中学校・高等学校(新校舎) 2階会議室